

三鷹中央学園では今…

パワーアップアクションプランの中で示す「目指す学園生像」の一つに「感謝と思いやりの心をもつ人」があります。各校で今年度行われた取り組みについてご紹介します。

第三・七小学校

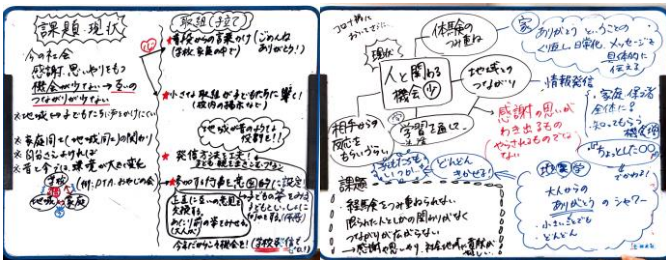
「道徳授業地区公開講座」に参加して

令和2年10月14日

【七小】

各学年で「人を思いやること」等をテーマにした道徳の授業がありました。参観後、先生方とCS委員で、パワーアップアクションプランの一つ「感謝と思いやりの心を持つ人」について今、大人ができることを議題に、グループに分かれて熟議が行われました。

「あいさつが基本」「まずは大人から積極的にあいさつ」などは各グループで一致しましたが、「今はマスクで話がしにくい、声が聞こえにくい」などの問題点もあがりました。



【三小】

「学校・地域・家庭で『心のマスクを外す時間』をつくるには」との表題で、(株)タンジェリン・ラボの高橋ライチ代表による講演がありました。コロナ禍でストレスのある生活が続く中で、より大切になってくる「聴く力」「話せる場」。途中、隣席の人と3分間話し合うという時間もあり、コミュニケーションの力を実感しました。「子どもも大人も聴く力をつけることがストレス耐性を育む」というお話に共感しました。

第四中学校

「いじめゼロサミット」

令和2年12月10日

○お互いをよく知り、思いやることができればいじめはなくなる。

そのために、レクリエーションを通してコミュニケーションをとる。また、ポスターを掲示して「見える化」を図ることで「イジメゼロ」への訴求を身近なものにする。

○学園生活の質や意識を高め、正しいことを堂々と言える環境を作ることも大事。

そのような取り組みを、生徒たちが試行錯誤しながら行っています。その活動の中で生まれたのが

<イジメゼロに向けての目標>

「真想明団」…真剣&真っすぐに相手を想い明るく団結

<授業を大事にするための施策>

「JJ大作戦」…授業準備大作戦

<学園生活の質の向上のために>

「CAP」…「ChimeAfterProject」

Chime：チャイムを守る

After：チャイム後の授業をしっかり受ける

Project：目標を達成するための計画企画を持つ

コミュニケーションがとりにくいコロナ禍ですが、四中生は、頑張っています！

庭プロ

第四中学校の中庭は長い間、雑草だらけで誰も立ち寄らない場所になっていました。その庭を、素敵な場所に作り変える「四中お庭プロジェクト」が(一社)みたかSCサポートネットを中心として始まりました。

完成にはまだ時間がかかりますが、完成の暁には、心地よい環境が楽しい学園生活の一助となれば幸いです。



こんなに雑草が



草をむしり



土をまぜ、レンガ敷き



春には花を植えま〜す！

